

女性チャレンジ応援拠点だより²⁰²⁰ 7月

〇●〇●〇 コラム 【いざ、2020年後半へ】 〇●〇●〇

今年も後半に入りました。前半の「コロナ禍」の余波はまだ続きますが、「新しい常態」も進みつつあります。変化を柔軟に受けとめながら、想いや志は見失わず、新しいやり方を試みて、これからの社会でも、想いをしっかりカタチにしていきたいものです。

そこで今月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、

～ケース4『ブレても戻せる<舵>をもつ』～

自分の想いや志を他人に話して、ざっくりわかってくれるのは20%程度、直感し理解してくれるのはさらその20%で全体からすると4、5%、8割の人にはわかってもらえません。チャレンジまもない方から「なかなか理解してもらえなくて…」という声をよく聞きますが、それはそうなのです。だから<伝える>大事さがいつの時代も言われるところです。

<伝える>技術に長けて、折れにくい心の持ち主であれば、停滞感も意に介さず前へ進んでいけますが、だいたいは意気消沈します。時には無理解な人の言葉に流され、自分の想いがブレてしまう、中には想いを取り下げてしまう人もいます。そうなっては、自分の想う<カタチ>はけっして作れません。

何度か「意気消沈」を経験したAさんは、ブレそうになったり、迷いが生じた時に<話せる相手>をもらっています。働く分野はまったく違う世界の人ですが、いつも気にかけてもらっている年上の知人だそう。何を話しても、率直に意見や感想を言ってきて、話しているうちに自分をとり戻していくといいます。

Bさんは、「般若心経」だそう。毎朝お仏壇に唱えていたことで、まるごと憶え、自分に自信が持てなくなった時などに唱えるといいます。自然と心が落ち着き、大らかな気持ちになって、自分を信じるころを進んでいけばいい！という気になるのだとか。

Cさんは、自分を正す「訓」をつくっています。最後に頼るのは自分、そう考えて、どんなことがあっても原点にかえる、そんな誠めを用意しているのだといいます。簡潔な言葉で、五ヶ条にした「訓」。どんなことが書かれているのでしょうか、興味深いところです。

他にも、「座右の書」をもつ人もいます。みなさんそれぞれに、自分に合った方法で、ブレを戻し、気を取りなおして、前進しています。「流儀」はその人の想いや根本的な考えが行為になって現れたものですから、まずは想いのブレを元にもどすことが大事です。

みなさんはチャレンジの過程でたくさんの人と出会いますから、ブレは付き物でもあるわけです。ブレを戻す自分なりの<舵>をもっておきたいものですが、「女性チャレンジ応援拠点」はその<舵>を自負しております。もしブレそうになったら、ぜひご利用ください。率直に、あたたかく、叱咤激励するスタッフ陣がお待ちしております。

。°+°。°+°。ご来室、お待ちしております °。°+ °。°

開室を再開させてから約1か月がたちました。ソーシャルディスタンス確保のため、一度の入室人数は**3人まで**としていますが、ほとんどの日で定員に余裕がございます。マスク着用、換気や消毒による清拭などの対応を万全にして、みなさまのご来室をお待ちしています。メールでの相談は随時、開室時間中は電話でも相談できます。お気軽に拠点をご利用ください。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階

電話&ファックス：06-7659-9640

メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

